



第5号

でん太通信

den ta tu ~ sin

NPO法人
原発ゼロ市民共同 **かわさき発電所 ニュースレター**

●発行 2015.1.15 NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●発行責任者 川岸卓哉

■川崎アゼリアのイベントに出展■

突然の衆議院解散に伴う選挙戦が始まった最初の日曜日(11月24日)、川崎アゼリアで「第5回 川崎市住まいのなんでも相談・展示会」というイベントがありました。



私たち「NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所」として初めてのブース展示です。「原発がいない世の中を！」作るためには、市民の認識の変革が必要です。「原発はいない、電気は作れる(足りている)」を知ってもらうことがイベントチームの目標の一つです。

ブース展示経験のないイベントチームでしたが、さまざまな意見を重ねどうにか形になりました。「自分で発電するおもちゃ」で子ども達を集め、保護者に対してプロモーションビデオを見てもらい、

イベントに立ち寄ったことが記憶に残るように、自分の写真で缶バッジを作成し販売するという念入りで綿密な作戦です。「自分で発電するおもちゃ」は子ども用に作りましたが、大人にも人気がありました。

計画当初、当会からの参加者数が少ないと予想されたことが最大の不安材料でしたが、13人もの仲間が時間を工面して参加してくれました。初めてのイベント成果は、2名の会員拡大です。ピラは300枚程度受け取ってもらい、缶バッジは10人以上に作る事が出来ました。

今後のイベント参加も計画されています。次回には、のぼりやスタッフジャンパーをそろえ、多くの市民によりいっそう「原発がいない世の中を実感してもらえる」ブース出展を目指したいと思います。次回のイベント予定は3月8日に、中原平和公園で予定されている「原発ゼロカウントダウン」です。みなさん、大勢での参加を期待しています。



イベントチーム 田中哲男



2015年2月1日は、



の通電式に 行ってみよう



「豪華すぎる」と話題の3名のゲスト

記念講演として、各界より素晴らしい方をお招きする事ができました！

竹内啓哉 氏

川崎医療生協 協同ふじさきクリニック所長。チェルノブイリの視察や、被災地における甲状腺検査などの経験から、医師の視点で原発や放射能の実態についてお話頂きます。



鈴木悌介 氏

エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議世話役代表。鈴廣かまぼこグループの代表取締役副社長。先進的な活動を続けていらっしゃる『エネ経』の事業や、鈴廣や小田原地域独自の取り組みなどについてご報告いただきます。



大木貞嗣 氏

多摩循環型エネルギー協会/多摩電力合同会社所属。「たまでん債」の活用や小中学校などへのパネルの設置で知られる『多摩電力』の活動について、詳しくご紹介して頂きます。



でん太くんグッズがもらえるっ！ スーパークイズ大会！！



通電式では、1年足らずで1号機完成まで駆け抜けた『原発ゼロ市民共同かわさき発電所』の歴史を振り返るとともに、スーパークイズ大会を開催。

正解者にはイメージキャラクターである『でん太くん』の豪華(?)オリジナルグッズをプレゼント！

通電式に来てクイズに答えて、貰っちゃおう♪





現地から実況生中継！ 生ライブ！ 生発電！



1号機を設置したマンションと会場を結んで、生中継を実施。パネルについての解説や、できたてはやほやの生電気をつかった生ライブを生中継！

生づくしの記念すべき発電所の第一歩。これは生で見なきゃでしょ！

NPO法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所

通電式

日時：2015年2月1日 13:30~17:00（発電所見学は12:30~）

場所：川崎市国際交流センター（元住吉駅より徒歩約12分）

レセプションルームにて。参加無料&予約不要。

終了後は懇親会を行います。通電式の前に発電所の見学もできます。

（懇親会・発電所見学は要予約。tanaka-teyuo@hotmail.co.jpにてメール受付）

NPO法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所 発電所第1号機の建設状況

12月に着工を始めてより1月15日現在で、1号機はほぼ完成に近づきました。ソーラーパネルは無事に100枚を設置完了。発電可能になるまで目前です！

設置に関しては膨大な議論を重ねた結果、安全性を重視したものになっています。屋根に穴を開ける事なく、固定はケミカルボルトを用いました。見学者が安心して歩けるように、柵も設置予定です。

生み出される電気は、家庭用エアコン約50台分。再生可能エネルギーを川崎から発展させていく為の大きな一歩が、いよいよ踏み出されます！



■自己紹介コーナー■ No.5

☆今月号は、NPO 法人格の取得や経理・事務に尽力いただいている齋藤光司さんです☆

自分たちのエネルギーは自らの手でつくりだす！



2011年3月11日の福島第一原発事故は、原子力発電所を人間の手でつくりだすことはできても、それをコントロールする、そして処分することができないものだと白日の下に晒されました。また、「原子力村」という経済利益の塊があるということも明らかになりました。

私は、その構造に対する新しい社会をつくること、反対運動と両輪の活動が必要だと思っていました。監事の鴨下さんより以前からのご縁でお誘いいただき、エネルギーを自分たちの手でつくりだし、そして地産地消で地域経済の発展を目指すことがその闘いのひとつと思い参加しました。

市民発電所がNPOという組織形態に行き着くにも、多大な議論の時間を要しました。ひとりひとりの市民が共同で事業を行うこととはどんなに難しいことか、と感じました。

一方で、法人格の組織形態や資金調達方法の実務スキームを研究することは、非常に興味深く、やりがいもありました。一般社団法人や合同会社、有限事業責任組合、適格機関投資家、私募債など聞いたことはありましたが、まさか実際にそれを自分たちで設立の検討をする日が来るとは思いませんでした。

現在、全国で再生可能エネルギーの事業を市民が共同しておこしはじめていますが、組織形態や資金調達方法の難題に直面しており、研究検討がされています。今後は、私たちの情報も他の団体とも共有し、積極的に連携を深めていきたいと思えます。

理事 齋藤光司

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090—7948—6189（川岸）

【編集後記】

冷え性で寒いのが超～苦手な私は床暖房に憧れますが、コタツもストーブもない我が家では、寒くなると“湯たんぽ”が活躍します。パソコンをやっている時も足元に置いてエアコンの使用を最小限に。自慢できるほどの節電はしていませんが、エネルギー消費を抑える工夫を楽しく実践していきたいと思う今日このごろ。みなさんはどんな節電をしているのかな。（加藤伸子）

